



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 東洋紡績株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 3101 URL <http://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂元 龍三

問合せ先責任者 (役職名) IRグループ長

(氏名) 浅井 治夫

TEL 06-6348-3044

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	178,121	4.9	11,047	0.9	10,142	13.4	5,199	—
23年3月期第2四半期	169,738	9.6	10,949	265.1	8,946	607.5	△1,916	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 5,643百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,035百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.86	5.86
23年3月期第2四半期	△2.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	437,863	144,692	29.1
23年3月期	443,516	149,773	28.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 127,535百万円 23年3月期 125,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	355,000	4.2	22,000	5.3	19,000	11.5	9,000	116.6	10.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	890,487,922 株	23年3月期	890,487,922 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,840,059 株	23年3月期	3,833,088 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	886,651,354 株	23年3月期2Q	746,681,453 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)P. 3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成23年11月8日にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
3. 補足情報	10
(1) セグメント別 売上高・営業利益	10
(2) その他 参考指標	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、東日本大震災によりサプライチェーンが大きな被害を受けましたが、当初の想定よりも早期に復旧し、復興による回復の兆しも見られました。しかしながら、歴史的な円高水準による競争力の低下や個人消費の伸び悩みなどにより、景気は依然として厳しい状況にあります。世界経済においては、中国をはじめとしたアジア諸国が牽引し、全体としては緩やかながらも成長しましたが、長引く欧州の財政・金融危機問題や米国経済の減速感などにより、景気の先行き不透明感は強まりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、「環境、ライフサイエンス、高機能で、新たな価値を提供するカテゴリートップ企業」を目指し、環境分野ではバイオマス原料を使った高融点ポリアミド樹脂、ライフサイエンス分野では血糖モニター用酵素などの新製品の拡販に努め、高機能分野ではペットボトル用のシュリンクフィルム、タッチパネル用フィルム、セラミックコンデンサー工程用フィルムといった新製品の販売に注力しました。また、工業用フィルム、包装用フィルムの両用途に対応するハイブリッド型ポリエステルフィルム製造設備の新設や医薬品製造受託事業における注射剤製造設備の増強を決定するなど、スペシャルティ事業の拡大を進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は前年同期比84億円（4.9%）増の1,781億円となり、営業利益は同1億円（0.9%）増の110億円、経常利益は同12億円（13.4%）増の101億円、四半期純利益は同71億円増の52億円（前年同期は四半期純損失19億円）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

（フィルム・機能樹脂事業）

当事業は、食品包装分野は順調に推移しましたが、液晶分野でのユーザーの減産影響や、自動車分野でのユーザーの震災影響により、前年同期と比べ、増収、減益となりました。

フィルム事業では、食品包装用フィルムは売上を伸ばしました。工業用フィルムは、スマートフォン関連の市場拡大にともない、タッチパネル用フィルム、セラミックコンデンサー工程用フィルムなどは堅調に推移しましたが、液晶パネル関連でのユーザーの生産調整の影響を受けました。

機能樹脂事業では、工業用接着剤“バイロン”は、第2四半期後半においては一部の海外の電子材料用途で在庫調整の影響を受けましたが、全般的には需要が堅調に推移し、増収となりました。エンジニアリングプラスチックは、自動車分野における主力ユーザーの減産により、苦戦しました。アクリル系樹脂は吸水性などの機能性微粒子が売上を伸ばし、ペットボトル用樹脂は数量が好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比68億円（10.6%）増の708億円となり、営業利益は同4億円（6.1%）減の65億円となりました。

（産業マテリアル事業）

当事業は、東日本大震災の影響を受け自動車分野では数量が減少しましたが、環境関連分野が好調に推移したことから、前年同期と比べ、減収、増益となりました。

エアバッグ用基布は、第2四半期から数量が回復しましたが、前年同期比では減収となりました。超高強度ポリエチレン繊維“ダイニーマ”は、震災の影響もありましたが、数量は堅調に推移しました。フィルター分野では、空調用フィルターが好調に推移するとともに、アジア地域の環境規制の流れを受けて、VOC処理装置が売上を大幅に伸ばしました。また、海外の火力発電所等の粉塵回収に使用されるバグフィルターは、需要が堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比2億円（0.7%）減の343億円、営業利益は、同0億円（1.6%）増の24億円となりました。

（ライフサイエンス事業）

当事業は、バイオ事業、メディカル事業、機能膜事業とも好調に推移しましたが、前年同期に比べ、増収、減益となりました。

バイオ事業では、円高の環境要因もありましたが、輸出を中心に主力製品である診断薬用酵素で売上を伸ばしました。メディカル事業においては、医薬品製造受託事業の受注が堅調に推移しました。機能膜事業においては、医用膜は、国内向けを中心に売上を伸ばしました。アクア膜は、国内外の既存プラントの交換膜出荷が好調に推移しましたが、為替の影響を受けました。ファインケミカル事業では、合成薬中間体の数量が減少しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比7億円（4.4%）増の156億円、営業利益は同1億円（4.3%）減の16億円となりました。

(衣料繊維事業)

当事業は、前年同期に比べ、減収、増益となりました。

アパレル製品事業は、スポーツアパレル向けは売上を伸ばしましたが、百貨店向け製品が震災の影響により苦戦しました。インナー事業は、機能素材を中心に順調に数量を拡大しました。テキスタイル事業では、ユニフォームは順調に売上を伸ばしましたが、中東向けの特化生地は、数量は堅調に推移したものの、円高の影響を受け苦戦しました。アクリル繊維“エクスラン”は、国内外ともに特化素材の需要が旺盛で、数量は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比1億円(0.1%)減の442億円となり、営業利益は同6億円(218.4%)増の9億円となりました。

(不動産事業・その他事業)

当事業では、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比12億円(10.1%)増の132億円となり、営業利益は同1億円(5.5%)減の11億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比57億円(1.3%)減の4,379億円となりました。これは、主として、現金及び預金が減少したことなどによります。

負債は、前年度末比6億円(0.2%)減の2,932億円となりました。これは、主として、1年内返済予定の長期借入金が減少したことなどによります。

純資産は、利益剰余金が増加しましたが、少数株主持分が減少したことなどにより、前年度末比51億円(3.4%)減の1,447億円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、96億の収入となりました。主な内容は、税金等調整前四半期純利益87億円、減価償却費95億円およびたな卸資産の増加額80億円です。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、62億円の支出となりました。主な内容は、有形及び無形固定資産の取得による支出69億円です。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、134億円の支出となりました。主な内容は、長期借入金の返済による支出128億円です。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前年度末比99億円減の120億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間においては、東日本大震災の影響による販売数量の減少などが自動車関連分野等の一部の事業でみられたものの、電子部品分野、環境関連分野が堅調に推移した結果、売上高およびすべての利益項目で、前回公表数値を上回りました。

このような状況の中、第3四半期以降においては、ライフサイエンス事業や産業マテリアル事業における環境関連分野などの需要が堅調に推移することや震災影響により減少していた出荷の回復が想定されるものの、歴史的な円高水準の継続による悪影響、個人消費の伸び悩み、欧州・米国ほか海外の不安定な経済状況など、景気の先行きに不透明感があることから、現時点では平成23年8月5日公表の通期業績予想を据え置くこととしました。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,014	12,163
受取手形及び売掛金	72,647	73,455
商品及び製品	38,794	44,878
仕掛品	13,803	14,663
原材料及び貯蔵品	13,391	14,462
その他	11,668	11,860
貸倒引当金	△316	△234
流動資産合計	172,001	171,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,510	47,068
機械装置及び運搬具（純額）	37,026	36,233
土地	106,949	106,799
その他（純額）	12,267	11,064
有形固定資産合計	203,751	201,163
無形固定資産	1,872	1,716
投資その他の資産		
その他	67,341	65,158
貸倒引当金	△1,450	△1,421
投資その他の資産合計	65,892	63,737
固定資産合計	271,515	266,617
資産合計	443,516	437,863

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,068	51,903
短期借入金	49,870	51,011
1年内返済予定の長期借入金	26,990	25,757
引当金	4,276	4,290
その他	33,239	31,407
流動負債合計	163,444	164,369
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	52,990	52,708
退職給付引当金	15,867	16,614
役員退職慰労引当金	435	385
環境対策引当金	1,085	1,076
その他	44,923	43,020
固定負債合計	130,299	128,802
負債合計	293,743	293,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	32,227	32,227
利益剰余金	15,481	17,582
自己株式	△562	△563
株主資本合計	98,876	100,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	△299
繰延ヘッジ損益	△159	△183
土地再評価差額金	38,132	38,120
為替換算調整勘定	△11,384	△11,079
その他の包括利益累計額合計	26,894	26,559
少数株主持分	24,003	17,157
純資産合計	149,773	144,692
負債純資産合計	443,516	437,863

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	169,738	178,121
売上原価	131,343	139,314
売上総利益	38,395	38,807
販売費及び一般管理費	27,445	27,760
営業利益	10,949	11,047
営業外収益		
その他	2,351	2,575
営業外収益合計	2,351	2,575
営業外費用		
支払利息	1,365	1,051
退職給付会計基準変更時差異の処理額	785	786
その他	2,204	1,643
営業外費用合計	4,354	3,480
経常利益	8,946	10,142
特別利益		
固定資産売却益	9	97
有価証券売却益	—	34
その他	29	—
特別利益合計	38	131
特別損失		
訴訟関連損失	961	1,124
その他	7,169	471
特別損失合計	8,130	1,595
税金等調整前四半期純利益	854	8,678
法人税等	2,307	2,711
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,452	5,967
少数株主利益	464	768
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,916	5,199

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1, 452	5, 967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	804	△594
繰延ヘッジ損益	△54	△24
為替換算調整勘定	△254	299
持分法適用会社に対する持分相当額	△78	△5
その他の包括利益合計	417	△324
四半期包括利益	△1, 035	5, 643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1, 487	4, 876
少数株主に係る四半期包括利益	452	767

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	854	8,678
減価償却費	9,193	9,460
支払利息	1,365	1,051
売上債権の増減額 (△は増加)	2,392	△930
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△876	△7,975
仕入債務の増減額 (△は減少)	△641	3,069
その他	5,375	△2,861
小計	17,663	10,493
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	223	△896
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,886	9,597
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,734	△6,942
その他	1,072	788
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,662	△6,154
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,127	1,141
長期借入れによる収入	12,528	11,300
長期借入金の返済による支出	△18,936	△12,818
優先出資証券の買入消却による支出	—	△7,242
配当金の支払額	△2,596	△3,085
利息の支払額	△1,338	△1,119
その他	△1,559	△1,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,027	△13,430
現金及び現金同等物に係る換算差額	△187	65
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,990	△9,921
現金及び現金同等物の期首残高	9,953	21,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,963	12,006

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム・ 機能樹脂 事業	産業 マテリアル 事業	ライフ サイエンス 事業	衣料繊維 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客に対 する売上高	64,037	34,544	14,927	44,266	1,813	159,586	10,152	169,738	—	169,738
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	367	180	20	210	634	1,411	3,808	5,219	△5,219	—
計	64,404	34,724	14,947	44,476	2,447	160,997	13,959	174,957	△5,219	169,738
セグメント利益	6,917	2,380	1,699	267	814	12,078	400	12,478	△1,528	10,949

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,528百万円には、セグメント間取引消去△79百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,449百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム・ 機能樹脂 事業	産業 マテリアル 事業	ライフ サイエンス 事業	衣料繊維 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客に対 する売上高	70,834	34,317	15,586	44,206	1,903	166,846	11,275	178,121	—	178,121
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	126	43	25	716	626	1,536	4,410	5,946	△5,946	—
計	70,960	34,360	15,611	44,922	2,529	168,382	15,685	184,067	△5,946	178,121
セグメント利益	6,493	2,419	1,626	851	703	12,092	445	12,537	△1,490	11,047

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,490百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,463百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) セグメント別 売上高・営業利益

(注) 下記の当連結会計年度における下半期及び年度の数値は、当第2四半期決算発表時点での予想数値であります。

(単位：億円)

		売上高				営業利益		
		前連結 会計年度	当連結 会計年度	対前年 増減	増減%	前連結 会計年度	当連結 会計年度	対前年 増減
		自22. 4. 1 至23. 3. 31	自23. 4. 1 至24. 3. 31			自22. 4. 1 至23. 3. 31	自23. 4. 1 至24. 3. 31	
フィルム・機能樹脂	1 Q	328	362	+34	+ 10.2%	38	36	△2
	2 Q	312	347	+34	+ 11.0%	32	29	△3
	上	640	708	+68	+ 10.6%	69	65	△4
	下	629	672	+42	+ 6.7%	56	58	+2
	年度	1,270	1,380	+110	+ 8.7%	125	123	△2
産業マテリアル	1 Q	164	164	+0	+ 0.2%	7	9	+2
	2 Q	182	179	△3	△ 1.4%	17	15	△2
	上	345	343	△2	△ 0.7%	24	24	+0
	下	369	377	+8	+ 2.1%	25	28	+3
	年度	715	720	+5	+ 0.8%	49	52	+3
ライフサイエンス	1 Q	68	74	+6	+ 8.8%	6	7	+0
	2 Q	81	82	+1	+ 0.7%	11	10	△1
	上	149	156	+7	+ 4.4%	17	16	△1
	下	165	184	+20	+ 11.9%	20	21	+1
	年度	314	340	+26	+ 8.3%	37	37	△0
衣料繊維	1 Q	207	213	+5	+ 2.6%	△3	6	+10
	2 Q	236	230	△6	△ 2.6%	6	2	△4
	上	443	442	△1	△ 0.1%	3	9	+6
	下	426	428	+2	+ 0.5%	4	6	+3
	年度	868	870	+2	+ 0.2%	6	15	+9
不動産・その他	1 Q	55	60	+5	+ 9.8%	5	5	+0
	2 Q	65	72	+7	+ 10.4%	7	7	△1
	上	120	132	+12	+ 10.1%	12	11	△1
	下	120	108	△11	△ 9.6%	11	12	+0
	年度	239	240	+1	+ 0.3%	23	23	△0
消去又は全社	1 Q					△8	△6	+1
	2 Q					△8	△8	△1
	上					△15	△15	+0
	下					△17	△15	+2
	年度					△32	△30	+2
合計	1 Q	822	872	+51	+ 6.2%	45	57	+12
	2 Q	876	909	+33	+ 3.8%	65	54	△11
	上	1,697	1,781	+84	+ 4.9%	109	110	+1
	下	1,708	1,769	+60	+ 3.5%	99	110	+10
	年度	3,406	3,550	+144	+ 4.2%	209	220	+11

(2) その他 参考指標

1. 設備投資額・減価償却費

(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費
21年 3 月 期	200	212
22年 3 月 期	152	204
23年 3 月 期	139	191
24年 3 月 期 2 Q	72	95

2. 研究開発費

(単位：億円)

	研究開発費
21年 3 月 期	107
22年 3 月 期	103
23年 3 月 期	106
24年 3 月 期 2 Q	53

3. 有利子負債残高・金融収支

(単位：億円)

	有利子負債残高	金融収支
21年 3 月 期	1,789	△20
22年 3 月 期	1,710	△18
23年 3 月 期	1,518	△16
24年 3 月 期 2 Q	1,509	△5

4. 従業員数

(単位：人)

	従業員数
21年 3 月 期	11,181
22年 3 月 期	10,398
23年 3 月 期	10,178
24年 3 月 期 2 Q	9,980